

第6学年道徳科学習指導案

令和4年5月18日(水)

第6学年3組 35名

授業者 福澤 和宏

わくわく・どきどき・チャレンジ蔵前

目指す児童像

他者と協働することで、多様な考えに触れ、学びを深める子

1 主題名 誠実に生きる A 正直, 誠実

2 ねらいと教材名

(1) 本時のねらい

ライオンを逃がすことを決めたヤクーバの気持ちを考えることを通して、自分に誠実に生きようとする心情を育てる。

(2) 教材名

「ヤクーバとライオン」(出典:かがやけみらい 小学校道徳6年 きづき・まなび 学校図書)

3 主題設定の理由

本主題は、小学校学習指導要領(平成29年7月告示)

特別の教科 道徳 第2内容

A 主として自分自身に関する事

[正直, 誠実] 第5学年及び第6学年

誠実に、明るく心で生活すること。

を受けて設定した。

(1) ねらいとする道徳的価値

誠実な生き方とは、自分自身を信じて、自分の言動に恥じない生き方である。そして誠実とは、「他人や仕事に対して、まじめで真心がこもっていること。」(広辞苑)とある。哲学者の三木清は「“正直”とは真実を語ることであり、つまり、言葉を現実に合わせることであり、それに対して“誠実さ”とは、現実を言葉に合わせることであり、結果に対する責任が生じるようになる。」と『人生論ノート』で言っている。つまり自分の行いによって、言葉通りのことが実現するようにすることが誠実さであり、結果に対する責任が生じるようになる。

本時を通して、児童一人一人が出会う多様な価値観の中で、自分自身に対する誠実さを軸として、自分の良心に対して正しいと思える行動をとることを大切にさせたい。そして自分に対して誠実で、前向きに行動することで、よりよい生き方につながるということに気付かせたい。

(2) 児童の実態

略

(3) 教材について

【教材文の概要】

アフリカの奥地にある小さな村。一人でライオンと戦って倒し、勇気を示さなくてはならないヤクーバは、瀕死のライオンと出会う。ライオンを倒して戦士となるか、それとも殺さないで戦士になれず、軽蔑されても気高い心をもつ人間として生きるかの選択を迫られたヤクーバの選んだ道について書かれた絵本である。

【教材文活用の視点】

一人の人間として誠実に生きるためにどうすれば良いか考えられる教材である。何か一つを選ばなくてはいけないときに、その判断基準を何にするかを考えることが大切である。そして、その対象が自分自身に対しても行えることに気付かせたい。また、登場人物の地位や名声を得たい思いと、自分の心に正直であることや誠実であることの大切さを思う葛藤を通して、自分に誠実に生きるとはどういうことか、これからどう生かしていくのか、考えを深めさせたい。

【教材分析】

場面	登場人物の状況	児童の反応	関連する内容項目
戦士になる儀式でたった一人でライオンを待つヤクーバが傷ついたライオンと出会う。	<ul style="list-style-type: none">・村で一人前と認められるには、村の掟としてライオンを一人で倒さなくてはいけない。・ライオンは傷ついている。	<ul style="list-style-type: none">・何としてもライオンを倒したい。・戦士になりたい。・一人前として、みんなに認められたい。	善悪の判断, 自律, 自由と責任 希望と勇気, 努力と強い意志 規則の尊重 生命の尊さ
ライオンと目で会話するヤクーバ。	<ul style="list-style-type: none">・ライオンを殺して戦士になる。・ライオンを殺さずに村で仲間外れになる。・気高い心をもった人間になる。	<ul style="list-style-type: none">・傷ついたライオンならば簡単に殺せる。・傷ついたライオンを殺して何になるのだろう。・傷ついていてもライオンには変わらない。・ライオンを倒さないと戦士にならない。	善悪の判断, 自律, 自由と責任 生命の尊さ 正直, 誠実
村のはずれで牛の世話をするヤクーバ。	<ul style="list-style-type: none">・ライオンに背を向けて帰っていく。・ヤクーバを冷たく迎える村の人々。	<ul style="list-style-type: none">・自分で決めた道で悔いはない。・これで良かったのだ。・戦士になれずに悔しい。	正直, 誠実 よりよく生きる喜び

4 研究主題に迫るための手立て

「他者と関わり協働する力」を向上させるための工夫

手立て① 友達と関わり合い学び合う学習活動の工夫

- ・主題に迫る話し合い活動を設定する。
- ・ハンドサインを活用し、自分の考えを友達に伝えるようにする。

手立て② 問いの工夫

- ・4月に実施した意識調査を思考ツール「ウェビング」にしてまとめたものを取り上げ、本時で考える共通のテーマにつなげる。 (「理解の問い」)
- ・授業を通して、誠実とは何かを問い続ける発問構成とする。 (「方略の問い」)
- ・振り返りの時間を確保することで、これまでの経験と本時の学習とを思い返し、誠実に生きることに對する自分の考えをもてるようにする。 (「振り返りの問い」)

手立て③ ICT 活用の工夫

- ・ワークシートをペアで交流したり、ポジショニング機能を使って児童の考えを学級全体で共有したりすることで、自分の考えを広げたり深めたりする。
- ・ICT 機器やBGM を使い、情感や余韻をもたせた教材提示をすることで、児童がその場面の様子や登場人物の気持ちを考えられるようにして、教材への関心を高めるようにする。

5 他の教育活動との関連

国語科における物語文「帰り道」では、主人公二人の思いを考えることを通して相互理解を図ると同時に、それぞれの立場で自分の行いを振り返り、自分の行いの基となる考えをどのように相手に正直に伝えるのかを考えることができた。

教科指導や日常指導において、自分の判断で考えさせる場面を意図的に設定し、その根拠を明らかにするようにする。

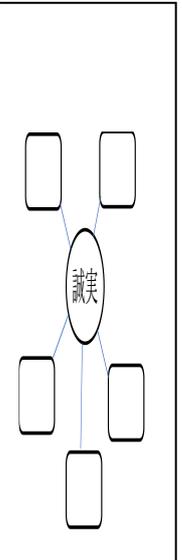
特別活動では学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の内容として、基本的な生活習慣の形成やより良い人間関係の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成を示している。これらのことについて、自らの生活を振り返り、自分の考えに誠実に行動することがよりよい生活につながることや、自己の目標達成に向けて努力を続けてきたことを振り返ったりすることは、道徳的な心情や実践意欲を高めることにつながると考えられる。

6 学習指導過程

	学習活動 ○主な発問 ◇中心発問	◎指導上の留意点 □評価				
導入	<p>1 誠実についての事前アンケート結果を提示する。</p> <p>○誠実とは、どんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真面目 ・正しいこと ・うそをつかない ・自分や相手に正直 ・まっすぐ <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">誠実に生きる</div>	<p>◎誠実についての意識調査結果から、誠実に対して感じていることを思考ツール「ウェビング」にしてまとめたものを取り上げ、共通のテーマに繋げる。</p>				
展開	<p>2 教材「ヤクーバとライオン」を聴き、話し合う。</p> <p>○「今こそ、勇気を奮い起こして、たたかう時だ。」と思った時のヤクーバは、どんな気持ちでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦士として認められるために、ライオンを倒そう。 ・一人前の戦士になりたい。 ・村の勇者になりたい。 <p>◇自分がヤクーバだったらどう考えますか。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">ライオンを殺して、戦士になる。みんなに認められるが、本当の名誉と言えるのだろうか。</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">ライオンを殺さずに気高い心をもった人になる。しかし仲間外れにされるだろう。</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなから認められ、一人前の戦士になりたい。 ・けがをしてもライオンはライオンだ。 ・戦士として認められたいが、けがをしたライオンを殺して何になるのだろうか。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・けがをしたライオンを倒しても勇者ではない。 ・仲間外れになるのは嫌だけれど。 ・気高い心をもった者こそ真の勇者だ。 ・自分の気持ちに正直にいたい。 </td> </tr> </table> <p>○牛たちの世話をしながら、ヤクーバは自分の選んだ道について、どう考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちに誠実でいられたから良い。 ・誰にも認められなくても、自分で決めた道を進もう。 <p>3 自分自身をみつめる。</p> <p>○誠実に生きるということについて、考えたことを書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が正しいと思う行動をとることが大切。 ・自分自身に誠実であれば、後悔はしない。 	ライオンを殺して、戦士になる。みんなに認められるが、本当の名誉と言えるのだろうか。	ライオンを殺さずに気高い心をもった人になる。しかし仲間外れにされるだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなから認められ、一人前の戦士になりたい。 ・けがをしてもライオンはライオンだ。 ・戦士として認められたいが、けがをしたライオンを殺して何になるのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがをしたライオンを倒しても勇者ではない。 ・仲間外れになるのは嫌だけれど。 ・気高い心をもった者こそ真の勇者だ。 ・自分の気持ちに正直にいたい。 	<p>◎情感や余韻をもたせた範読、ICT機器を使った教材提示をすることで、登場人物の気持ちや様子を感じ、教材への関心を高める。</p> <p>◎村で戦士であることは名誉であり、村で認められるために戦おうとしているヤクーバの気持ちを考え、この後の決意の重みへ繋がるようにする。</p> <p>◎ポジショニング機能を使い、考えを電子黒板の画面上に表して全員の考えを共有するようにする。</p> <p>◎補助発問「けがをしたライオンを殺してでも、戦士という名誉が欲しいのか。」「自分が言わなければ、けがをしたライオンだったとは誰も知らない。」と問い返して、児童の考えを広げるようにする。</p> <p>□ヤクーバの心の葛藤について話し合い、自分自身の心に誠実である生き方について考えを広げている。(発言・ハンドサイン・ポジショニング)</p> <p>◎村で認められなかったとしても、後悔をしていないヤクーバの姿から、誠実に生きることについて考えるようにする。</p> <p>□自分に対して誠実である生き方や在り方について、自分の経験や考えに照らして考えている。(発言・ハンドサイン・ワークシート)</p>
ライオンを殺して、戦士になる。みんなに認められるが、本当の名誉と言えるのだろうか。	ライオンを殺さずに気高い心をもった人になる。しかし仲間外れにされるだろう。					
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなから認められ、一人前の戦士になりたい。 ・けがをしてもライオンはライオンだ。 ・戦士として認められたいが、けがをしたライオンを殺して何になるのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがをしたライオンを倒しても勇者ではない。 ・仲間外れになるのは嫌だけれど。 ・気高い心をもった者こそ真の勇者だ。 ・自分の気持ちに正直にいたい。 					

<p>終末</p>	<p>4 教師の読み聞かせを聴く。 ○「ヤクーバとライオン 信頼」の読み聞かせをする。</p>	<p>◎その後のヤクーバの様子から、誠実に生きることの良さを感じられるようにする。</p>
-----------	---	---

7 板書計画

<p>誠実に生きるとは</p>	<p>場面絵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちに誠実でいられたから良い。 ・自分で決めた道を進もう。 	<p>牛たちの世話をしながら</p>	<p>場面絵</p> <p>ライオンを殺して戦士になる</p>	<p>場面絵</p> <p>ライオンを殺さず高い気となる</p>	<p>自分がヤクーバだったら</p>	<p>場面絵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦士として認められるために、ライオンを倒そう。 ・一人前の戦士になりたい。 	<p>「今こそ、勇気を奮い起こして、たたかう時だ。」</p>	<p>第五回 道徳授業 誠実に生きる ヤクーバとライオン</p>  <p>「誠実」に関する児童アンケート結果による「ウェビング」</p>
-----------------	--	--------------------	---------------------------------	----------------------------------	--------------------	--	--------------------------------	--